

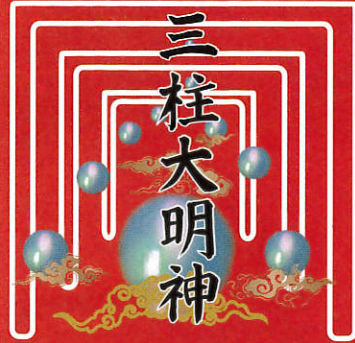
神代之風



発行：玉置神社
発行人：弓場 季彦
TEL. 0746-64-0500
FAX 0746-64-0429

5月14日 出雲大社玉置教会

6月30日 夏越 大 祓



初午祭

初午のこの日、680人が参拝

朝から雨模様で祭典の途中で雨が降り出した。道路は小石が、時には大きな石も散乱する悪路。参拝者の足もかなり止まるかと予想。この予想ははずれました。3月7日祭典開始前にはもう駐車場が混んでいて駐車をするのに苦労しましたと参拝者から声あり。祭典は予定どおり斎行・完了。

古くより伝わる神事芸能の神楽舞を男子神子二人が巫女姿で演じ、神賑行事では津軽三味線プロ奏者徳田恵美さんが迫力ある三味線ソロと唄を、地元十津川出身の吉田正子さんはご当地ソング「恋しくて十津川」を情感たつぷりに奉納されました。名物のふるまいぜんざいは相変わらずの超人気。モチもたつぷり用意されたモチまき。これも名物になりつつある。撒き手には今回初めて女性有志も参加。にぎやかなこと、にぎやかなこと！

宮司あいさつによると参拝者は昨年度対比ですでに1万5千人を超え激増が見込まれています。「神は人の敬によりて威を増す」参拝者の皆様ありがとうございました。





宮司ごあいさつ

ようお参り
くださいま
した。

平成27年 初午祭



神子による神楽舞



伝供



参進



雅な楽曲を奏でる龍笛



「恋しくて十津川」を熱唱

華を添えた女性神職



真剣な面持ちで神事を見守る



迫力ある津軽三味線演奏



受付も笑顔で応対



大賑わいのぜんざいコーナー



依り以上の神明奉仕が叶うように取り組みつつける事と、神社で齋行される祭典の中で奉仕出来ていない祭典が有るので、その祭典をご奉仕出来る様に取り組み年としたい。又この様に変わりつつ有る、天空の都文化の香りがする玉置神社の姿を参拝に来られる、氏子・崇敬者・一般参列者の方々にも感じていただける様に職員一同頑張る一年としたい。

平成二十七年度は、此の一年の経験を踏まえて、依り以上の神明奉仕が叶うように取り組みつつける事と、神社で齋行される祭典の中で奉仕出来ていない祭典が有るので、その祭典をご奉仕出来る様に取り組み年としたい。

「平成二十六年度一年を振り返って」

参事 青山 孝

平成二十六年度四月から玉置神社の祭事である各祭典を原点に戻って、特に祭式・加えて祭典式次第と典儀次第を誰が奉仕しても同じ様にお祭り奉仕が出来る事を念頭に基礎を固めながら始めたのが今年三月七日の「三柱神社初午祭」を無事奉仕終わって一年を迎える。

神社日誌抄

毎月1日は出雲大社玉置教会、15日は三柱神社、24日は玉置神社本社の月次祭を齋行、8日は大日堂社の開扉をしています。

- 12月 8日 宮司年末の挨拶まわり
- 12月 10日 責任役員会開催
- 12月 15日 「恋しくて十津川」の作詞作曲者 福西壽男氏が天理から来社
- 12月 20日 クラブツーリズム「二行」17名様が来社
- 12月 24日 氏子総代会開催
- 12月 26日 きんでん電柱立替工事着手
- 12月 27日 大高真澄会の方々19名様が来社
- 12月 31日 アコースティック琴奏者福川みゆ香さん来社
- 1月 1日 十津川村活性化について富士通幹部4名様と宮司が討議
- 1月 5日 すす払い神事齋行
- 1月 8日 税理士業務のため来社
- 1月 12日 年越大祓及び除夜祭齋行、十津川太鼓グループ鼓魂(こだま)による除夜太鼓
- 1月 17日 歳旦祭齋行
- 1月 28日 大津エンジン・アリング(株)十津川リサイクルセンター「二行」来社
- 1月 29日 大成建設(株)関西支店「一行」が来社
- 2月 1日 (株)NTTフィールドテクノ奈良営業所「一行」交通安全祈願
- 2月 3日 (株)鈴工社長牛場まり子様来社
- 2月 5日 宮司、新年の挨拶まわり
- 2月 8日 古神札御焚上祭齋行
- 2月 11日 税理士業務のため来社
- 2月 15日 五條消防署十津川分署員の方が安全点検のため来社
- 2月 17日 税理士業務のため来社
- 2月 27日 頼まれたのだが、退職願を提出し退職した元職員他一名を復職をさせて頂いてくれとのお話等に来社の方あり???
- 2月 29日 節分祭齋行
- 2月 31日 大日堂社転換祭齋行
- 2月 5日 徳田恵美津軽三味線奉納演奏及び奉納演奏奉告祭開催
- 2月 8日 一ノ瀬様(東京在住)「一行」4名が来社
- 2月 11日 新十津川町青年協議会「一行」10名が来社
- 2月 15日 富士さくら会(板垣輝彦代表)「一行」61名様が正式参拝
- 2月 17日 紀元祭齋行
- 2月 27日 初午祭歌奉納予定の吉田正子さん他2名様が来社参拝
- 2月 28日 責任役員会開催
- 2月 29日 首都圏旅行エージェンツ社6名、村内視察のため観光振興課松實氏引率で来社
- 2月 29日 教育委員会和田課長、丸谷氏来社「氏子総代が交代した事情を聴きたい」等のお尋ねあり、対応立会者一同仰天絶句の重大発言
- 2月 29日 税理士業務のため来社
- 2月 29日 十津川警察庁舎所長田中侑二氏着任挨拶に来社
- 2月 29日 観光振興課増谷課長打合せに来社
- 2月 29日 奈良県神社庁において奈良新聞社主催、県神社庁後援第6回大和学講座開催、弓場宮司が講演
- 2月 29日 税理士業務のため来社
- 3月 4日 初午祭準備のため責任役員 稲田氏、岩崎氏来社
- 3月 17日 初午祭が盛大に齋行されました。
- 3月 18日 キーボード・村尾コージ、パーカッション・浅野文夫の奉納演奏
- 3月 19日 大日堂社転換祭齋行

玉置山文化サロン

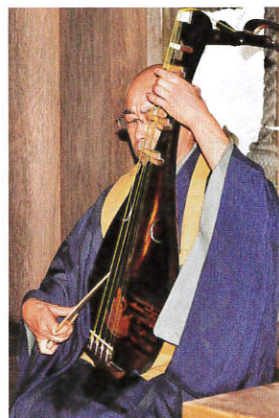


舞と振付け (元OSK (大阪松竹歌劇団) 吉津たかしさん)

「山上の小さな安らぎと文化の都を夢見て」
何、それ?
祈りの場、安らぎの場であると共に、そこはかとなく文化の薫が漂い賑やかさも伝わってくるような、そんな神社でありたいということなのよ。
現状をとりあえず乗り切ることだけ考えていては、神社の未来も淋しい。歴史と伝統だけに甘んずることなく、新たな取り組みにも智恵を出したい。神社で行えることはしているかもしれないが、小さくとも掲げた灯はしっかりと輝かしていきたい。
さてどこへ行くこう風が吹く。まずは文化の薫がするその一端を担う文化奉納支援と発信。いろんな分野から奉納していただき、もう十三回を数えました。
その内容は次のとおりです。



奈良フィルハーモニー管弦楽団演奏 (全良雄団長他)



薩摩琵琶演奏 (関川鶴祐さん)



サントウル演奏 (ジミー宮下さん)



狂言 (大蔵狂言会奈良篠基会社中)



揮毫作品 (書家 北原美麗さん)



アコースティック
=エレクトリックKOTO演奏 (福川みゆ香さん)



龍笛演奏 (榎原神宮雅楽教室の皆さん)



和太鼓演奏 (原田嘉子さん)



ライアー演奏 (池末みゆきさん)



クリスタルボウル演奏 (仲野栄子さん)

(備 考) 奉納を希望される方は次へお問い合わせください。文化奉納担当
電話 0746-64-0500 FAX 0746-64-0429

第六回 大和学講座 県神社庁で開催

平成二十七年二月二十八日、橿原市久米町の県神社庁で開催(奈良新聞社主催、県神社庁後援)された。今回は、弓場宮司が「玉置山は、このようなどころです」をテーマに、世界遺産玉置神社の創建、御祭神、年中行事、文化財、神事芸能等の全体像を説明のうえ、かねてより宮司は、神社は、祈りの場、安らぎの場であると共に、「山上の小さな安らぎと文化の都を夢見て」を標榜している。それでは、いったいどのような取り組みをしているのかを、神社職員手作りの映像を混じえて紹介。広報活動の強化・文化奉納支援と発信。参籠朝拝等の体験行事・神職同行参拝研修旅行・祭式教室、雅楽教室の開催、ボランティアアスタツップの参加等、参拝者の方々からの要望も参考に活発な動き。九十人程の参加者は、熱心に聞いておられた様子。



県神社庁で大和学講座「玉置山は、このようなどころです」をテーマに講演する宮司

大日堂社転換祭・節分祭 ・津軽三味線奉納演奏奉告祭



大日堂社転換祭

大日堂社転換祭は、鎮座されている大日如来尊像を回転させ、背後の尊像を表にする。年に一回、胎蔵界と金剛界を入れ替える。節分祭は、初めての試み。豆まき等、参拝者も楽しんでおられました。小さくとも、大樹に育てていきたいですね。津軽三味線奉納演奏奉告祭、津軽三味線奏者、徳田恵美さん。大阪に講師として教室も開講中。ご縁あつて来社。強烈な音色が響きわたりましたね。二月三日、寒さ厳しい山が、にぎわいました。



節分祭



津軽三味線奉納演奏

キーボードとパーカッションで奉納演奏
プロのドラマー村尾浩史さんとパーカッションで45年前から活動している浅野文夫さんのお二人は数年前からバンド組んでいる。主にジャズ音楽を演奏しているが、和歌「万葉集」にメロディを付け口笛、歌も加わる演奏も試みており、神社、仏閣からも招かれる。三月十一日、村尾さんはキーボードと歌・口笛を担当し、浅野さんのパーカッションで演奏を奉納した。「静」から「動」へと展開。地鳴りの如く駆けめぐっていました。玉置山の神々、如何でしたでしょうか。



21世紀の森・紀伊半島森林植物公園
石楠花まつり 百花繚乱
4月下旬~5月下旬
イメージ写真です

詳しい開花予想やイベント内容のお問い合わせは下記へ

十津川村観光協会
奈良県吉野郡十津川村小原315-1
TEL 0746-63-0200
FAX 0746-63-0202
E-mail info@totsukawa.info

東大寺平岡昇修執事長ご講話

3月のお水取りを控え平岡執事長がお水取りのご講話と体験談(奈良市内で平成27年2月)をお話された。お水取りには3度参りましたが最後の時間まで拝見するのはかなり体力が必要でもうお仕舞にしようかと決めていた。

しかし、執事長のご講話・体験談を伺い見るべきところも感じるべきところもさっぱりわかっていないなど目覚めさせられた思い。濃密な時間でした。再びの参拝チャレンジを期したい。



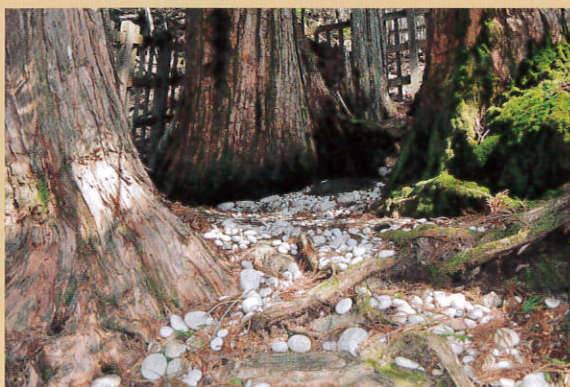
5月の新祭事予告

5月6日「白山社例祭」

御祭神 菊理媛尊(くくりひめのみこと)
 黄泉の国との境界で対峙する二人の前に登場するのが菊理媛尊で、伊弉諾尊・伊弉冉尊二神の仲裁をし、その後、天照大御神や月読尊、須佐之男尊が生まれます。菊理媛は現在「和合の神」「縁結びの神」としても崇敬されています。

5月13日「玉石社例祭」

御祭神 大己貴命(おおなむぢのみこと)
 平安の昔、吉野より熊野に至る修験道を開いた山岳修行の祖、役行者が後世のために財宝を埋納し福德を祈念したと伝えられている。



5月の新祭事が本年度より斎行されます。尚、本年の玉置神社研修旅行は白山社の本宮である北陸石川県に鎮座の「白山比咩神社」に参拝します。